

教科用図書調査に関する報告書

教科	社会 (地図)
----	---------

発行者 略称	教科書名	選定委員から付された意見
東書	新しい地図帳	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の一般図は、地形の陰影をなくしてすっきりとしており、都市の文字を縁取りするなど、必要な情報が読み取りやすい。また、田や畑などの基本的な地図記号を記載し、土地の様子がわかるようにしている。印刷の色も濃くはっきりしているが、やや強調されすぎている部分がある。 ・各都道府県の地図や白地図、社会科の学習に関連する地域のドローン動画、地図の基本がわかるクイズなどのデジタルコンテンツがある。また、白地図など指導者が授業で活用できるものがある。 ・世界遺産を写真や解説で紹介しながら地図上に位置を示している。食べ物、祭りをイラストで紹介するなど、国土、歴史への関心を高めている。 ・日本の歴史と世界のかかわり等、地理以外の学習でも活用できるページが充実している。教科横断的に活用することもできる。 ・グラフや資料が多く掲載されているが、1ページに収められている情報量がやや多い。
帝国	楽しく学ぶ 小学生の 地図帳 3・4・5・6年	<ul style="list-style-type: none"> ・色のコントラストがよく、レイアウトが統一されているため見やすい。 ・地形の様子がとらえやすくなるよう、土地の高さによる色分けと手書き風の山の表現を組み合わせた立体感のある地図表現となっている。 ・詳細な地図と簡易的な地図をうまく組み合わせしており、目的や発達段階に応じて使い分けができる。 ・「日本の領土とそのまわり」では、写真を掲載して領土問題について詳しく説明している。日本列島と周辺諸国の位置関係が正しく理解できる。 ・巻頭の「地図帳の使い方」では、地図帳の使い方について詳しく説明がなされている。特に縮尺の解説は小学生の子どもにとってもわかりやすいものとなっている。 ・「日本の自然のようす」「日本の産業のようす」等の学習を写真やイラストで示し、地図帳を使って興味深く学習できるようにしている。特に「日本の歴史と世界文化遺産」では、年表と地図、写真を対応させている。